

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



経済学部
研究室
5
1235

東大
12



出院者多し之を新費六八入之と道科徳金
 若くは減額せし事申之為又日在村源と申す
 者日板石洞法皇御後心持達生養文とて今ま
 西儀全見仁村南郷堂宮御登御日有村教長
 教令之取之内是御申す打百足志魚吉郎と
 之入宛初各二核人もの二郷百足及下村之村長
 の社以代宣のこと多し之とて二日百足及下村の
 長あたる申す

一 橋本 南郷五郎後下村
 一 吉見初吉 以の郷村
 一 橋本善吉 一

一 三立利 以の郷村
 一 松平 以の郷村
 一 三友忠 以の郷村

一 中島 以の郷村
 一 酒道 以の郷村
 一 尾相 以の郷村

一 橋本 以の郷村
 一 尾相 以の郷村
 一 高橋 以の郷村

一 橋本 以の郷村
 一 山 以の郷村
 一 尾相 以の郷村

市川儀多の持渡初事故是近地也
世一渡り市川儀多の事ありて道なり
町あり凡百町中川ふし口印の市川
儀多の方系の時諸役人思ひ切後
中一統の儀多の事なり市川
儀多の川心し道なり大市川門口並
儀多の事なり大市川門口並儀多
二系儀多の事なり大市川門口並
寺門浦門口之次第柳川ふし担金所

流札の事なり大市川門口並儀多
儀多の事なり大市川門口並儀多
ある儀多の事なり大市川門口並
道なり大市川門口並儀多の事
之儀多の事なり大市川門口並
歌書儀多の事なり大市川門口並
書儀多の事なり大市川門口並
少儀多の事なり大市川門口並
その儀多の事なり大市川門口並
おの儀多の事なり大市川門口並

奉願上中下境

一 河免定河下之事

善 以換見引高河下檢之事

一 諸產物以解拂之事

一 永川高河下檢之事

一 金子他札勝之事

一 封札後至務事解拂之事

一 條系務事賣拂之事

一 吟延米以事

一 以外百事務年以元之河法

一 河上檢心而一切之事

一 同難院身事年以元之河法

一 寄以檢上中下之事

一 此度後黨人等も世に居りて以て味
之節に於て極手親之也

一 日歸取師及以行事

一 東井市川実在之人に宛てて彼等

百延元 二年八月廿二日

如形次第之由に之を以て書せしめたる
則以下に於て是れも之を以て書せしめたる
一 願候に保証書等も取付申上り候事

内書保証書等之由に之を以て書せしめたる
其後之に取付申上り候事

一 度申上り候事書せしめたる取付申上り候事

一 亦取付申上り候事

口取 清水保証書之判

町奉行 山縣直孝之判

口取 此等市之判

町奉行 總代 森田之判

夜久郷校本三

相色本三

隆初以来隆慶年中三ノ月自松原家上ノ親類共以少子ノ
中ノ有玉ノ拂ノ故一 天啓甲午年三月十日他世矣云

一 沼札座

吉田九郎三信

萬美三郎の兄を連ともし組頭而之を以て上様と云ふ
中ノ三月朔日自六ノ一にて死

一 物物

松田辰三

此物系長所也其形如卜者將之用法云云其松田辰三也

一 東方百席及西方七信

此物引込室子以因来上之布外此物も以松田辰三也其来連系ノ
子ノ連系ノ弟以因而移ノ此物も引込室子ノ中ノ一也其松田辰三也

一 横田五席

正音辰三之市

此物も引込室子ノ中ノ一也其松田辰三也其来連系ノ
子ノ連系ノ弟以因而移ノ此物も引込室子ノ中ノ一也其松田辰三也

一 口設

安井辰三之信

隆初以来隆慶年中三ノ月自松原家上ノ親類共以少子ノ
中ノ有玉ノ拂ノ故一 天啓甲午年三月十日他世矣云

一 山形物

有馬辰三

隆初以来隆慶年中三ノ月自松原家上ノ親類共以少子ノ
中ノ有玉ノ拂ノ故一 天啓甲午年三月十日他世矣云

改修其板也

一高田三卷

一坊田屋三卷

一江戶利三卷

改修其板也

一油田三卷

一油田三卷

一油田三卷

改修其板也

一板屋三卷

一板屋三卷

一板屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

一油田三卷

一油田三卷

一油田三卷

一板屋三卷

一板屋三卷

一板屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

一油田三卷

一油田三卷

一油田三卷

一板屋三卷

一板屋三卷

一板屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一門屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

一坊屋三卷

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

改修其板也

山嶽の事数多事は山嶽の事なり
 嶽の事多し迷惑は亦荒く官の事
 之の事多し我の事多し
 写すはまはるるを相違し
 片人の事多し
 事多し

山嶽の事数多事は山嶽の事なり



Handwritten text in a vertical column, likely a list or record, written in a cursive style. The text is partially obscured by the decorative border on the left.

A large, bold, handwritten character, possibly a signature or a mark, located in the lower right quadrant of the page.

经济
15